

いわみ 議会だより

かわい
い
や
つ
こ
の
行
列
御湯神社神幸大祭 (岩井)

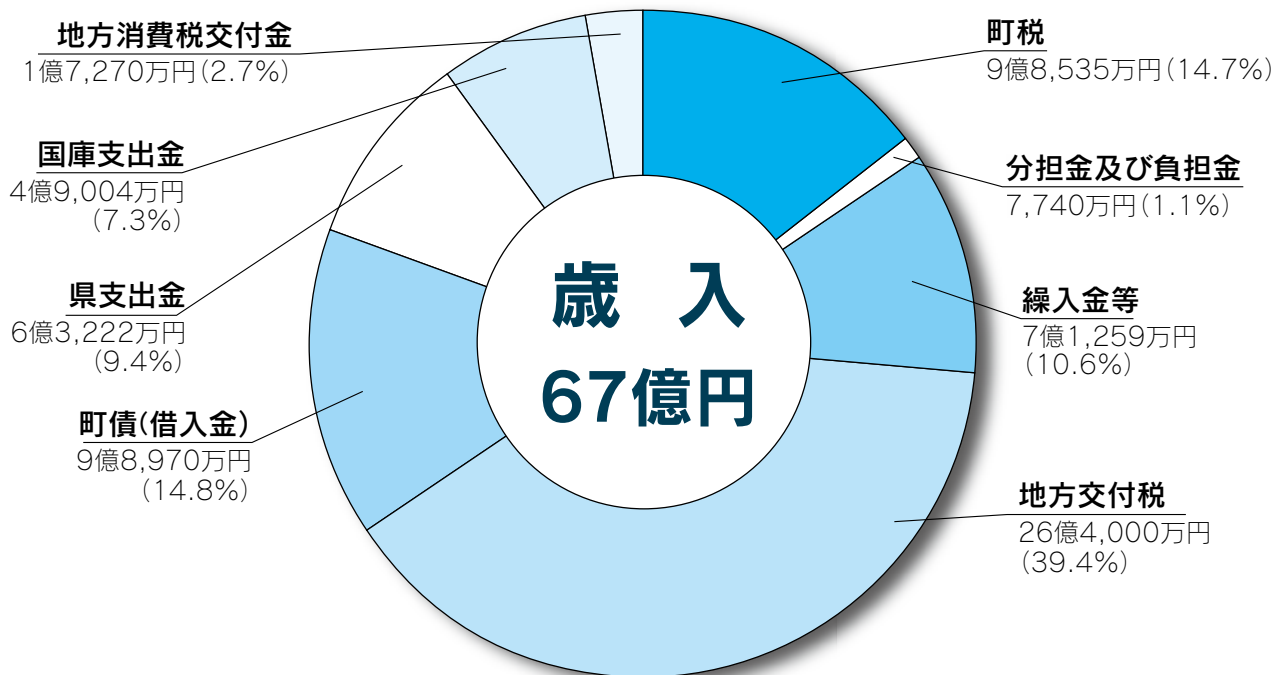
3月定例会

- 2 通所リハビリテーションを拡充
岩美病院の認知症病棟を活用
- 4 主な議案の概要・質疑
- 10 一般質問 6 議員が町政を質す^{ただ}

アクションを拡充

症病棟を活用

【入るお金】



3月定例会は、3月7日から21日まで、15日間の会期で開きました。

今議会に提案された平成24年度補正予算案11議案、平成25年度当初予算案11議案、条例の設定及び改正など16議案、人権擁護委員候補者の推薦など追加5議案のすべてを原案どおり可決しました。

新たに実施する主な事業

● 病院及び健康対策

- ・ 休止中の認知症病棟を通所リハビリテーションとして活用

- ・ 各種がん検診（集団検診）を全額公費負担
- ・ 子宮頸がんウイルス感染の検査を無料化
- ・ 75歳以上の方の肺炎球菌ワクチン接種費用を助成

● 田村虎蔵生誕140周年顕彰事業

（コンサート、野外音楽施設の整備など）

● 破碎型生ごみ処理機（台所設置式）の購入を助成

● 太陽熱温水器の設置助成

● 「地域おこし協力隊」制度（総務省）を活用した人材誘致

● 新規就農者の借家、農地の賃借料、機械・施設の整備費を助成

● バイ貝の産卵器の購入を助成

● 福島県の子どもたちが岩美の自然を学習・体験することを支援

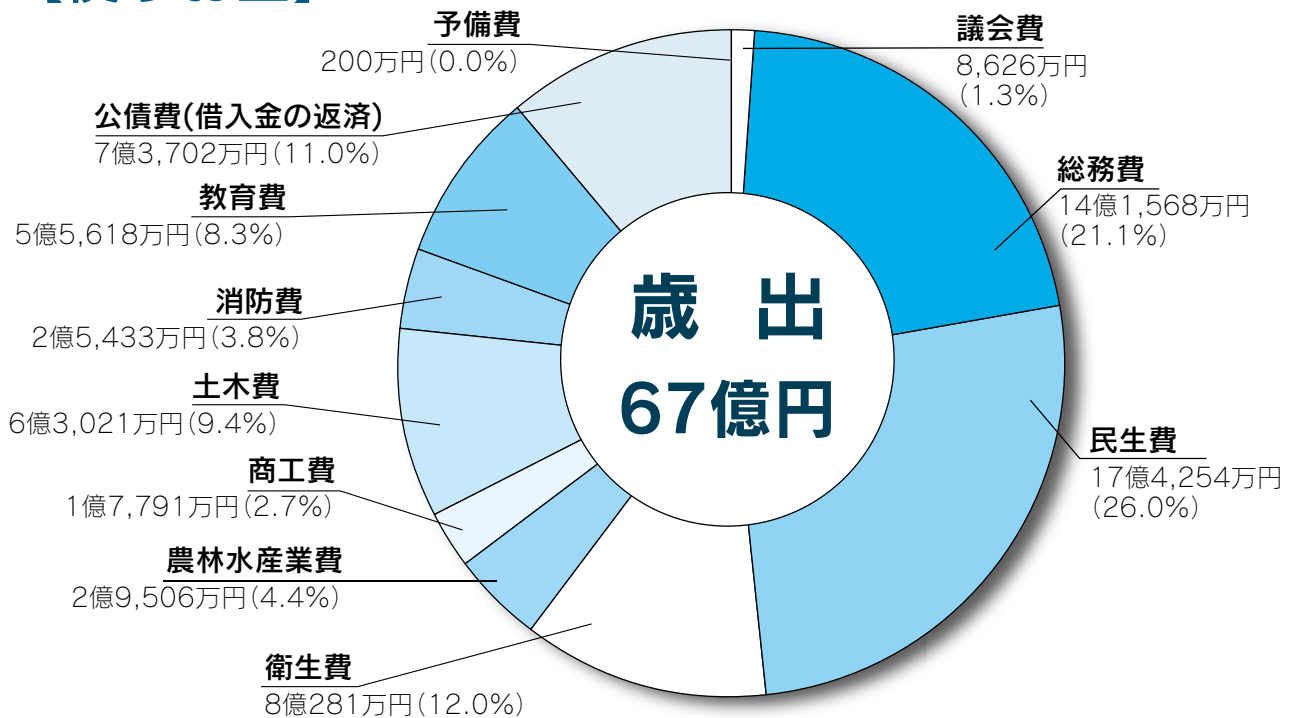
● 自主防災組織の防災資機材の購入を助成

平成25年度当初予算

通所リハビリテ

岩美病院の認知

【使うお金】



特別会計・企業会計予算額

	会計名	予算額
特別会計	住宅新築資金等貸付	188万円
	代替バス運送事業	3,223万円
	後期高齢者医療	1億3,401万円
	国民健康保険	14億8,411万円
	集落排水処理事業	1億2,038万円
	公共下水道事業	4億2,789万円
	介護保険	15億1,090万円
	訪問看護ステーション	4,212万円
企業会計	水道事業	2億2,812万円
	病院事業	20億2,953万円

拡充する主な事業

- 30人学級を小学校4年生でも実施（小学校1年生から4年生、中学校全学年が30人学級、小学校5年生、6年生が35人学級）
- 脳ドック検診の受診料の一部公費負担の対象を70歳に拡大
- 心身障害児（者）の高額医療費助成の対象を2級手帳所持者から3級手帳所持者に拡大

新年度議案の審議

本会議 (3月8・13日)

平成25年度関係議案(条例・予算)
一括説明・質疑



付託

予算特別委員会

平成25年度予算審査

審査(3月13・14・18日)

常任委員会

平成25年度条例審査

審査(3月14日)



報告

本会議 (3月21日)

各常任委員長報告(条例)

予算審査特別委員長報告(予算)

質疑・討論・採決

主な議案の概要・質疑

条例

男女共同参画推進条例

日本国憲法では、個人の尊重と法のものとの平等がうたわれており、国では、男女共同参画社会基本法が制定され、国内及び県内でも、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが進められている。

全ての町民が生き生きと充実した生活を送るために、男女平等を基本とした男女共同参画社会の実現をめざす。

問 男女平等を貫くというところが、明記される必要があるのではないか。

答 差別については憲法や法律も既にある。人権基本法を踏まえながら取り組みたい。

水道事業の設置等に関する条例の一部改正

高住簡易給水施設小田地区簡易水道事業を統合する。

地域おこし協力隊事業費

問 可能な範囲で兼業ができるのか。

3人の協力隊員が連携やつながりを保ち、共同生活をするという説明があった。

共同生活という枠をつくと、ちゅうちよすることになるのでは。

答 町と雇用関係を結ぶので、兼業はできない。基本的には共同生活をお願いしている。

3人の協力隊員が近くにいて意思疎通を図っていただけの場所で、活動していただきたい。

生活保護

問 就労したくても仕事がない方はどう指導しているのか。

答 東部4町で、就労支援員を1名設置しており個別に訪問し、就労のあっせんや、ハローワー

一般会計予算

クにつないだり、希望に応じた業種を探して就労に結びつけていく活動をしている。

森林病害虫等防除事業費

問 松くい虫の空中散布は自然環境に悪影響を及ぼすとの理由で、住民の反対も多くある。空中散布により守られるもの、壊されるもの、どう考えているか。

伐採した木の撤去を、今後どう取り組むのか。

答 黒松は町の木であり、守っていくべきであり、枯れた木は森林景観対策事業で、伐倒をしている。ただ、急斜面でもあり、搬出ができない現場もある。

地元の合意を得ながら対応していきたい。

県とも協力しながら、引き続き枯損木対策もやっていきたい。



女と男のつどい(中央公民館)

山陰海岸ジオパーク推進事業費

問 26年度のジオパーク再審査に向けて、24年度から25年度にかけての事業活用が重要視される。

答 24年度の事業をどう分析され、25年度にどう改善し、臨むのか。

問 24年度事業は、制度内容の精査も周知も、いま一つだったと反省している。

答 25年度は、制度の内容をよく精査し、町民に事業内容をよくお知らせし年度当初からしっかりと進めていきたい。

問 26年度に更新審査となるが、自治体の連携で目標達成のための取り組み、連携や考え方はどうか。

答 更新のための諸準備は、3府県、3市、3町でよく連携して進めている。毎月ジオパークの担当課が集まり、重要な案件などの連携を図っている。

問 ライブカメラを町外にどう発信していくのか。

答 定点カメラから、景色が流れる。NHKに放送を要望するなど、有効活用に努めたい。

文化振興事業費

問 町の指定文化財である

旧岩井小学校校舎の洋風建築を、保存修理するための調査設計を実施するということより、見きわめをつける時期ではないか。

答 文化財保護の観点から、建築士会などが移築保存せよと強い働きかけがある。

どの程度修繕すれば、5年なり10年なり延命策を見込むのか。

答 蒲生の野外音楽施設は、田村虎蔵生誕140周年記念としてつくられるが、規模と後のランニングコストはどのくらい

かはかれるのか、どれだけの費用がかかるのかを考へたい。

野外音楽施設事業費

問 蒲生の野外音楽施設は、田村虎蔵生誕140周年記念としてつくられるが、規模と後のランニングコストはどのくらい見込むのか。

答 全国ツアーを受け入れるような、大規模な施設を構想してはいない。300人程度の規模を考へている。

この音楽施設は、田村虎蔵を軸にした情報発信や、顕彰事業をずっと続けていくことで、高校や大学のコーラス部等が、民宿や温泉に泊まって夏休みを過ごしていただければと思っている。また、いわみ音楽祭の町内のイベントや町民が活用するようになればと思う。



旧岩井小学校校舎

この校舎は、明治25年8月、岩井尋常小学校と改称された時、現在地に新築されたもの。

明治時代の洋風学校建築として、県下唯一の遺構であり、明治初期の擬洋風建築の系統を引く数少ない建築として極めて貴重。

昭和50年より岩美町保護文化財に指定。

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

飯野 幸義 (黒谷)

人権擁護委員候補者の推薦を決めました。

山根 安正 (浦富)
山本 悦子 (恩志)

(敬称略)

予算審査特別委員会の審査

平成25年度の予算に関する11議案を、議長を除く全議員で構成する特別委員会を設置して審査しました。

予算審査特別委員会は、総務教育、産業福祉の各分科会で審査し、各分科会委員長の報告をもとに予算議案全体の審査を行いました。その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものとしました。主な審査状況は、次のとおりです。

一般会計

【歳入】

問 滞納整理の取り組みは。

答 税負担の公平性の観点からも厳しい姿勢で取り組んでいる。

また、鳥取県地方税滞納整理機構に参加し、県と合同で滞納整理にあたり徴収効果が上がっている。

問 地方交付税の見積もりは。

答 地方財政計画に基づき、低めの見積りをしている。給与削減要請による

4,000万円の減も考慮し、普通交付税23億5,000万円、特別交付税2億9,000万円と見込んでいる。

【歳出】

戸籍住民基本台帳費

問 戸籍副本データ管理システムは、札幌の管理センターとは随時データのやりとりをするのか。

答 データ送信は、国と自治体を繋ぐ専用回線を通して、定期的に行う予定だが、まだ何日毎とは決まっていない。災害などで、戸籍データが滅失した場合に受信し、データの復元を行う。

社会福祉総務費

問 民生児童委員は、業務が多岐に渡っているが無報酬だ。活動を支援するために補助金を増やせないか。

答 国からは、活動に係る実費58,200円しか支給されていないので、

民生児童委員協議会に研修や自己研鑽に係る活動費を負担している。他市町に遜色のないよう検討し、国にも処遇改善を求める。

児童福祉総務費

問 子育て短期支援事業の内容は。

答 ひとり親家庭の増加など、家庭での子育て機能が低下している。冠婚葬祭や保護者の疾病などに対応する養育支援策である。宿泊を伴うショートステイ、午後10時まで預かるトワイライトステイの2種類あり、鳥取こども学園で児童をあ

ずかる事業である。

老人福祉費

問 各地区敬老会と高齢者ふれあい福祉大会は、同じ高齢者を対象にした事業だ。

答 町は、事業の趣旨の違いをどう捉えているか。

答 敬老会は、高齢者を敬うことを目的として、75歳以上を対象に行っている。

高齢者ふれあい福祉大会は、高齢者を敬うことと町民の福祉に対する関心と理解を深めるために実施している。障がい者福祉やボランティア関係者への拡大を含め、25年度に関係機関と検討し、26年度から新たな事業に取り組みたい。



高年齢者ふれあい福祉大会

観光費

意見 観光の最大イベントである花火大会をはじめ、ビーチバレーやサーフィン大会は、本町の魅力を発信するのにも有効な手段である。

さらに、大きな大会に発展するよう26年度の補助金額の検討を求める。



元気フェスティバル

道路橋りょう総務費

問 いわみ道の駅整備事業費の内訳は。

答 道の駅の調査・設計業務の委託料で、改修して利用予定の既存建物の耐震診断及び用地測量などが主なもの。

必要に応じて、市場調査などの実施も検討する。

非常備消防費

意見 消防団は防災対策上重要な組織であり、欠員を早期に補充すること。また、女性団員の加入も検討すること。

災害対策費

問 自主防災組織活動費補助金は、対象要件が組織結成後1年を経過した団体とハードルが高いが、緩和してはどうか。

答 自主防災組織の育成と活性化を目的としているので、結成が確認されれば補助対象としたい。

社会教育総務費

問 蒲生野外音楽施設整備の雨天時対応や音響設備の考え方は。

答 雨天時には、隣接する体育館で開催可能。音響設備は常設のものは考えていない。

意見 町内で利用できる移動可能な音響設備の検討を求める。

国民健康保険特別会計

問 特定健康診査の最終目標年度の受診率と国の対応はどうか。

答 計画期間は、20年度から5年間で終了した。最終年度の24年度の実績は、23年度と同様の37パーセントと見込んでいて、当初の目標は達成できていない。

全国的に受診率は低く、後期高齢者支援金に係る加算・減算措置は、極端な低率・高率である団体にしか適用されず、本町には適用されない。

病院事業会計

意見 地方公営企業会計制度が、平成26年度当初予算編成から大きく変わる。

今後、担当常任委員会で詳細を説明するよう求める。

問 1階の認知症病棟を、通所リハビリテーションとして使用することは、目的外使用になる。

認知症病棟の設置に伴う補助金の返還があるのか。

答 国と協議中である。

これまで、病棟再開に向け努力した経緯や国・町の医療介護の方向が、在宅を推進していることに基づき活用する計画であることを伝え、返還しなくて済むように努力する。

公共下水道事業特別会計

問 大谷浄化センター管理事業費の、網代不明水対策工事の内容は。

答 現在実施中の不明水調査により、雨水が下水道に流入している箇所が判明した。

調査完了後、担当常任委員会と対策を協議したい。

3月議会初日に可決した 主な議案と審議状況

鳥取市と岩美町との一般廃棄物の焼却等に関する事務の委託に関する規約の変更

岩美町の可燃ごみの焼却を鳥取市に委託しているが、3月で期間満了となるため、委託期間を25年4月1日から29年3月31日に変更しました。

一般会計補正予算

8,019万円減額し、総額64億3,723万円となりました。

歳出の主なもの

森林病害虫等防除事業費532万円減
実績に基づき減額

◆質疑

問 当初予算と比べて減額が大きすぎるがなぜか。

答 予定していた田後地区から、防除してほしくないという要望があり、実施しなかったことが減額の主なもの。

中小企業小口融資貸付金 534万円減
新規貸付金がなかったことにより減額

◆質疑

問 他の低金利の制度から借りる実態があり、大きな減額補正が数年間続いている。これでは融資枠を設けている意味がない。借りやすい仕組みにする必要があるが、どうか。

答 金利の問題とか、県の制度との兼ね合いなども含め、金融界とも相談し、使い便のいいように見直したい。

奨学資金貸付基金繰出金 400万円減
貸し付けが見込みより少なく、償還が見込みより多かったため、繰出金が不要となったため。

◆質疑

問 償還金は年度によって変動があり、計画的な基金運営が必要ではないか。

答 これまでは、一般財源から繰出ししなければ、貸付金が回らなかったという状況があった。
しかし、現在の基金でまかなえる状況になったと判断している。

請願・陳情審査結果

件名	審査結果	不採択理由
沖縄県民の命を危険にさらし、墜落と死の恐怖の押し付けを許さない オスプレイの普天間基地への配備中止を求める陳情書 岩美町大字高山60-1 田中清一	不採択 採択賛成者 田中克美、日出嶋香代子 趣旨採択賛成者 河下哲志、船田為久 反対者 7人	日本の防衛は日米安全保障条約を基軸としており、オスプレイの配備はアメリカ海兵隊の即応力が格段に高まり、尖閣諸島を含む南西諸島防衛における抑止力強化には必要なものと考えられる。 また、オスプレイは沖縄に配備はされているが、その存在による抑止力は日本全体をカバーしており、日本の安全保障に対する認識を、日本国民全体が等しく共有することが必要である。
「生活保護基準の引き下げをしないこと」の意見書提出を国に求める請願書 米子市博労町3-44-1 鳥取県生活と健康を守る会連合会 会長 中川 淑 紹介議員 田中 克美	不採択 採択賛成者 田中克美 反対者 10人	生活保護を受けないで頑張っている低所得世帯より生活保護世帯の保護費が多いことは、生活保護を受けていない世帯の理解を得られない。 生活保護費の不正受給が増えていると言われており、はじめをつけるべきである。
生活保護費の基準引き下げをしないよう国に求める意見書提出の陳情 鳥取市末広温泉町571 鳥取県民主医療機関連合会気付 鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田 安一	不採択 採択賛成者 田中克美 反対者 10人	生活保護を受けないで頑張っている低所得世帯より生活保護世帯の保護費が多いことは、生活保護を受けていない世帯の理解を得られない。 生活保護費の不正受給が増えていると言われており、はじめをつけるべきである。
安倍内閣にTPP(環太平洋連携協定)への参加断念を求める意見書の提出を求める陳情 鳥取市鹿野町今市916 農民運動鳥取県連合会 代表者 今本 潔	不採択 採択賛成者 河下哲志、松井俊明、日出嶋香代子、田中克美、船木祥一 反対者 6人	交渉参加の判断は政府の専権事項であり、交渉過程ごとに適宜、国会の場などを通じて国民に情報提供を丁寧に行い、国民のコンセンサスづくりに努めることが必要である。 また、アジア太平洋地域の成長を十分に取り込んでいくことは経済戦略として必要であり、安倍首相が農産品等の聖域を確保しようとしていること、確保できない場合は脱退も辞さないとしていること、先日の日米首脳会談での共同声明を受け止めれば、必ずしもわが国の経済の潮流に逆行しているとは言いつれない。
年金2.5%削減撤回の意見書提出を求める陳情 鳥取市西品治806 鳥取県労連気付 全日本年金者組合鳥取県東部支部 支部長 市谷 尚三	不採択 採択賛成者 松井俊明、日出嶋香代子、田中克美 反対者 8人	年金を3年間で2.5%削減するのは、物価が下がったから引き下げるという物価スライドによって、本来10年前に削減となるべきであった金額に調整するものである。 また、将来の世代とのバランスも考えるべきである。

3月定例会提出議案の結果と議員の賛否の状況

提出者	審議結果	議案名	議員名											
			田中 伸吾	河下 哲志	松井 俊明	澤 治樹	竹中 一浩	日出嶋 香代子	芝岡 みどり	柳 正敏	船田 爲久	田中 克美	船木 祥一	津村 忠彦
町長	可決	鳥取市と岩美町との一般廃棄物の焼却等に関する事務の委託に関する規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度代替バス運送事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度訪問看護ステーション特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	過疎地域自立促進計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	男女共同参画推進条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	ホームヘルパー派遣手数料の徴収に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定密着型会簿予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	町営住宅等の整備の基準に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	道路の構造の技術的基準に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	道路標識の寸法に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	準用河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	水道事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度住宅新築資金等貸付特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度代替バス運送事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度集落排水処理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度訪問看護ステーション特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成25年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
町長	可決	平成25年度病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	町立緑地管理中央センターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	町立婦人の家の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	可決	平成24年度一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	同意	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	答申	人権擁護委員候補者の推薦（諮問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町長	答申	人権擁護委員候補者の推薦（諮問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○は賛成・×は反対。 ※津村議長は本会議の採決に加わらない。

3ワクチンの定期接種化への周知は

芝岡みどり議員

個別に通知し、徹底したい

榎本町長



芝岡 みどり 議員

ワクチンだが、任意から定期接種に変わることや個人負担がなくなることを町民にどう周知徹底するか。

町長 町の持っている広報媒体の活用とともに、対象者に個別に通知し、漏れなく接種を受けていただけるよう取り組みたい。
その上で受けてない方にもう一度個別に知らせ、徹底したい。

芝岡 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンが、予防接種法の改正により、4月から任意接種から定期接種になる。個人負担はなくなるが、町負担はどうなるか。

町長 22年から3年間1,400万円余負担してきた。

国は今後、財源の9割を地方交付税で手当する方針だ。

芝岡 女性の健康をサポートし、子どもの未来を守る大変重要な3つの



予防接種（岩美病院）

若者中心のまちづくりを

芝岡みどり議員

まちを思う環境をつくる

榎本町長

芝岡 第9次総合計画でめざす将来像を「人がつながり心をつなぎ未来へつなげる岩美町」としている。

実現するには、若者の熱と力が不可欠だし、まちづくりに参画させることが重要だと考えるが。

町長 若者サロンを中心ににして取り組んでいるが、若者が力を発揮するまでには至っていない。

芝岡 若者の定住化を図るために、さまざまな施策に鋭意取り組んできた。

魅力を感じ、定住するよつに若者の意見を聞き、若者中心のまちづくりをすることが大切ではないか。

町長 町に対する思いを抱くよう家庭教育、環境

ITを活用した連帯意識の高揚、仲間づくりへの取り組みを進めている。また、小・中・高校生が地域行事に積極的に参加する仕組みを働きかける。

記念イベントに若者の熱と力を

芝岡みどり議員

より多くの若者が集うイベントにしたい

榎本町長

芝岡 山陰海岸国立公園指定50周年の節目の年だ。

記念イベントに若者が熱と力を発揮し、盛り上げるのがまちづくりにつながると考えるが。

若者の分野は小・中・高校生という範囲が中心となっている。

浦富海岸元気フェスティバルも記念イベントとして多くの若者が集えるイベントにしたい。

町長 国立公園浦富海岸は、山陰海岸の中心であり、町の大きな宝である。

記念行事は3府県、3市3町に環境省が加わり、1千万円の予算が既に決められている。

特色ある学校づくり事業を 弾力的に実施せよ 田中克美議員

柔軟性を持って取り組む

榎本町長



田中 克美 議員

田中 特色ある学校づくり事業の趣旨は、4月にスタートする新体制のもとで、学力向上や教職員の資質向上などに意欲を存分に発揮してもらえよう、予算の裏付をつくるものである。

この事業のなかで学校教育の施策として定着してきたものは、通常の予算として計上すべきである。

教育長 通常の学校予算として手当てすべきものは、予算編成時に留意している。

この事業の中から、通

町長 ぜひ、今後もこの事業を継続してほしいとの要望をいただいているので、もっと柔軟性を持たせ、使い勝手のよい仕組みに改めていきたい。

田中 学校給食法は負担は保護者が負うものとして定めているが、食材費につ

いて一食あたりの負担を軽減するとか、2人目3人目の児童・生徒の軽減策を講じてはどうか。

町長 行政と家族の責任として給食費（食材費）はいただく。

負担軽減は、他の分野で充実を図っていく。



岩美中学校

オスプレイとドクターヘリの 飛行ルートが重なり危険 田中克美議員

県との連携で対応したい

榎本町長

田中 オスプレイは開発試験段階から墜落事故を繰り返し非常に危険なものである。

先日、四国から和歌山とのオレンジルートでの訓練がなされた。

中国地方にもブラウンルートがあるが、ドクターヘリの飛行ルートと重なる部分があると思うが見解を伺う。

町長 県としっかり連携をとる中で、米軍らしき飛行物体が発見された場合には速やかに県や防衛省の出先に通報することとなっている。

町はケーブルテレビなどを通じて町民に情報提供を求めて行く。

TPP 町民集会の開催を提起する

田中克美議員

現時点では考えていない

榎本町長

田中 TPP問題は、しっかり考えていくことが必要である。

今の時期改めて町民集会を開催することを提起

町長 今の時点では考えていない。

いわみ道の駅構想を示せ

松井俊明議員

十分な調査をし、つめていきたい

榎本町長



松井 俊明 議員

松井 道の駅事業の進捗と構想づくりの取組みはどうか。

町長 道の駅の整備は第7次総合計画で掲げている。

商工会、町観光協会、県漁協網代港支所、田後漁協、JA鳥取いなば、5団体で協議会を設置した。

松井 市場調査の結果と予測のデータが出ているか。

町長 市場調査の点では類似施設での取扱い品、

が変わるが、どういふふうを感じるか。

町長 国道9号線は一定の幹線の役割を果たすと考えている。

赤碓の道の駅のお客さんは減っていない状況で施設が魅力的なことが第一条件だと考える。

松井 あの場所は防災拠点のままだよいのではないか。

町長 道の駅の機能の一つとして防災拠点の施設になる。

松井 道の駅の特徴はどのような企画研究がされているか。

町長 特色を持った目玉をつくることは必要だと思っている。

松井 毎日、安心安全で新鮮な農海産物を安定的に準備できるか。

町長 それぞれの生産団体がどういった構想を寄せて来てくれるか問い直したい。

松井 行政は営利を目的とした行動はしないが、運営形態にはどのように関与するのか。

町長 観光面の情報発信や町のアピールなど、直接営利でなくPR拠点という位置づけの役割を担っていきたい。

松井 道の駅は一つの事業としての施策と考えるが、もっと大規模な施策を考えてはどうか。

町長 国の助成や諸制度を使いながらやらなければ町の単独ではできないと考えている。今後、議論とさせていきたいながら検討していく。



いわみ道の駅予定地

通知表は3学期制に合わせるべき

田中伸吾議員

保護者と学校の意見交換が必要

寺西教育長

小学生のスポーツ環境の整備を

田中伸吾議員

小学校では限界がある

寺西教育長



田中 伸吾 議員

田中 町は3学期制をとっているが南小と西小は通知表を2回にしている。3小学校が足並みをそろえるべきではないが。

教育長 学校評議員から質問もなく、保護者から指摘もなかった。私は、3学期制のとおり3回が良いと考えている。

田中 複数の保護者から、意見を聞いたが、区切りとして節目ごとに成績表をいただいた方が良く、という意見が多かった。

教育長 町は3学期制だから、3回の通知表が良いと思っている。あらためて、保護者と学校の先生の意見交換をすることになった。

田中 指導者の確保、保護者の事情により、町内の小学生のスポーツにかかわる人口が減少している。

教育長 町内の各小学校のスポーツクラブは9種目17クラブある。小学校には、学習指導要領でスポーツ活動とい



少年野球練習風景（岩美南小）

う位置づけがなく、社会体育の範囲での実施だ。そして実際に、児童数が減少しているのは事実だ。また、場所とか指導者とか、全てのニーズに合わせるの難しい。

小学校では、陸上と水泳だ。この違いは何か。
教育長 中学校は、部活動が学校教育の一環として、学習指導要領で位置付けられている。しかし、小学校は走る、跳ぶ、泳ぐが指導内容で限界がある。

田中 中学校では全生徒が、部活動に入り、先生が指導している。

小学校には、学習指導要領でスポーツ活動とい

技術職員の育成に努めよ

田中伸吾議員

最大限努力する

榎本町長

田中 町の工事発注に伴い、業者に町の意向を正確に伝え、設計業務、監理業務が行われているが。

間、置いておくわけにはいかない。資格があっても配置換えがある。

町長 技術職員の育成は、小規模な自治体では大きな課題だ。一応資格をもった職員はいるが、充分に対応できていない。職員は同じ職に長い

田中 町の財産を守るためにも人材を育てて欲しい。

町長 適材適所の人員配置、養成する努力など、最大限の努力をする。

民間造成地に助成し若者世代を呼び込め

日出嶋香代子議員

民間造成地に助成は困難

榎本町長



日出嶋香代子 議員

これ以上は他を削らなければできない。

日出嶋 駒馳山トンネルの開通に伴い、国道178号線沿いを整備する必要があると考える。

日出嶋 少子化を防ぐためにも幼児教育費の無償化はできないか。

町長 現在鳥取県中で、最も負担の少ない保育料である。

町長 町が一方的には進めない。

自治会や地元の力でこの地域一帯の環境を良くしようという段階を踏まえ、全町的な合意形成が必要と思う。

いじめをなくすための取り組みは

日出嶋香代子議員

未然防止、実態把握、事後指導にに取り組んでいる

寺西教育長

日出嶋 体罰の定義は何か。

教育長 1つ目に、体罰は体に対する侵害で、殴るとか蹴るということ。

2つ目は、肉体的な苦痛を長時間与える正座、直立など特定の姿勢を長時間保持させること。

これが体罰に該当することが、法で明確に示されている。

日出嶋 町内の小・中学校のいじめの実態は。

教育長 小学校で3事例、中学校で2事例あるが、どれも解決している。

子どもたちの人間関係については、引き続き指導中である。

日出嶋 いじめをなくすため、どんな取り組みを

しているか。

教育長 取り組みの1つ目は、未然防止である。

県が定めるいじめ対策指針により、一人ひとりが認め合える学級、学校集団づくりをめざしている。

2つ目は、実態を把握することである。

アンケート調査、学級日誌、部活動の日誌、生活ノートからの実態を把握すること。

終わりの会とか帰りの会での反省、保健室、登校時や下校時、保護者からの連絡などが把握方法である。

3つ目は、事後指導の重視だ。継続して指導を積み重ねていかなければ、児童・生徒の心の変化というのはなかなか見抜けない。

日出嶋 岩本の新しい造成地に、若い世代に来てもらうための町独自の対策は。

町長 民間の造成地に助成することは難しいが、上下水道の整備計画の区域は拡大して入れる予定である。

日出嶋 造成地を町のホームページで紹介してはどうか。

町長 民間事業者の宣伝はできないが、バナー広告であれば可能である。



宅地造成予定地（岩本）

ふるさと人物誌を活用せよ

河下哲志議員

町民の誇りとして使っている

寺西教育長



河下 哲志 議員

河下 先人の歩みを継承して町の歴史とともに学ぶことは学校教育や社会教育には意義深く町の誇りである。

ふるさと人物誌は学校の教材としてどのように使われているか。

教育長 まずは先生の教材として教師が指導の前に必ず読んでいます。

小学校はふるさとのことを学ぶ機会が多いので、わかりやすいように加工して使っている。

中学校は、指導する社会の教員が資料として使っている。

河下 名誉町民は現在6人だが、増やす予定はあるか。
また、審議会ではどのように決められたか。

町長 専決事項ではないが、ご生存の方を考えると26年度が町制60周年なので話が出てくると思う。

総務課長 2年の審議会で5名が選考され、16年の町制施行50周年で1名選ばれ現在の6名となっている。

河下 多くの先人達の生い立ちや生きざまを、これからのまちづくりに生かしていく仕組みが必要だと思うが。

町長 町の活性化のもとであり、大きな資源だと

思い取り組んで来ている。イベントとして取り上げたり、あるいは継続して今後も充実を図っていききたい。



「ふるさと人物誌」に登場する4人
(前列左から「田村虎蔵」「澤田節蔵」「澤田廉三」後列左から5番目「松岡駒吉」)
郷友会(昭和14年10月10日「岩井郡郷友会東京支部」澤田両大使送迎会の記念写真
(栗村哲像氏所有))

いわみ道の駅の中身はどうか

河下哲志議員

細かい点はずまっている

榎本町長

河下 道の駅には町民の関心が高いが、町が誇れる日本一の事例・事象はないか。

町長 山陰海岸国立公園や、世界ジオパークなど町の姿そのものが誇りである。

水産物では魚種ごとの水揚げは日本一、二なども誇りである。すばらしい多くの先人を排出した町として誇れる。

道の駅は細かな点がつまっていない。
町民にも参加して検討していただきたい。

河下 道の駅のコンセプトと運営主体は。

町長 まだ基本的なコンセプトなどが確立されていない。
今後、しっかりと議論を進めていきたいと思う。

運営主体は、設立協議会で早急に検討していただく。

議会だより調査特別委員会委員

議長	津村 忠彦
副議長	船木 祥一
委員長	芝岡みどり
副委員長	田中 克美
委員	柳 正敏
委員	竹中 一浩
委員	澤 治樹
委員	松井 俊明
委員	河下 哲志
委員	田中 伸吾

御湯神社(岩井)

宮司 小田哲郎さん



御湯神社
は、温泉の神と祀る神社として、古代から知られている神社です。

平安時代に編纂された『延喜式神名帳』によれば、その頃日本には3121社の神社があり、その中に御湯神社の名前があります。同じくその『神名帳』によれば、その頃日本には温泉神を祀った神社が8社あり、その中に御湯神社が入っています。

岩井温泉に古くから伝わる話として、鎌倉時代に藤原冬久が全国を放浪の途次、夢の中で神女のお告げがあり、自分の寝ていた場所を掘ると、お湯が湧き出た。これが岩井温泉の始まりであるとしています。しかし、目的の無い旅の途中、偶々立ち寄った所を掘ったらお湯が湧いた、とのお話は科学的ではありません。

藤原冬久は、『延喜式神名帳』を見て、因幡国の岩井に温泉があることを知って来て来たのではないのでしょうか。

伝説によれば、彼は皮膚病を患っていて、世を憐んで旅に出たとのことですから、病を治すために、初めから温泉をめざして岩井に来たとも考えられます。彼は平安貴族藤原氏の眷族ですから、案に延喜式を読む立場にあり、それを読みこなす教養もありました。このことから御湯神社は『温泉の里』の象徴であると言えるのではないかと思います。

《大きな袋を肩に掛け、大黒様が来かかると……(唱歌『大黒様』)この歌は、いなばの白兔が、わに



ざめに皮を剥かれて泣いているところを、そこを通りかかった大黒様(大黒貴命)が助けるといふ物語を歌ったものです。ところで、皆さまはこの物語の続きをご存じでしょうか。この後、大黒様は八上の里(八頭郡)へ行き、八上姫命と結婚されます。そして、お生まれになったのが、御湯神社です。御湯神社ではこの物語の主人公である大黒貴命・八上姫命・御湯神の三柱と猿田彦命を併せて祀っています。

鳥取県にはこの三柱の中の一柱または二柱を祀った神社は数多く存在しますが、三柱をセットにして祀った神社は御湯神社の他にはありません。鳥根県にも全国にも存在しません。このことから、御湯神社は『神話の里』の象徴であるといえるのではないかと思います。

御湯神社の創建は弘仁二年(八一二)、江戸時代になって、元二つあった神社を合祀、それ以来三柱に猿田彦命の一柱を加え、四柱となりました。